

スズキ労連組織内議員から新年のご挨拶

静岡県議会議員
田口 章



新春を寿ぎ、謹んで皆様方のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。
 昨年は東日本大震災や台風襲来など自然災害が猛威を振った年でした。加えて超円高という産業への逆風もあり、日本全体にとって本当に厳しい年になりました。
 本年は辰年。昇竜のように元気な年になるよう期待したいものですね。
 私自身は、皆様方に本当にお世話になった年でした。
 静岡県議会へと転身する中、「基礎自治体(市)」と「広域行政(県)」の役割分担のあり方を常に意識しつつ活動いたしました。微力ながらも、浜松市議会での経験を活かし、地域主権改革の勉強を進め、さまざまな提言に努めることができたと思っています。
 引き続き、行財政改革をはじめ産業振興、地震津波対策、原子力発電所の安全確保など、県として今やらなくてはいけないことを着実に進めていけるよう、みなさんと意見交換しながら取り組んでまいります。
 さて静岡県が掲げる「富国徳の理想郷“ふじのくに”」づくり。今年は、その国土軸として、三ヶ日から御殿場まで県内162km区間で「新東名高速道路」が開通します。
 予定では「初夏までに」と言われており、交流人口増のほか、企業誘致や産業活性化、さらには防災対策についても、新たな進展が期待できます。県ではこれを大きなチャンスととらえ「内陸フロンティア」事業を進めていく予定です。

“フロンティア”。閉塞感の漂う今だからこそ、重要なキーワードではないでしょうか。平成24年、私は「フロンティア・スピリット」を持って、元気いっぱいガンバります。みんなで力をあわせて元気な静岡県を創っていきましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

浜松市議会議員
徳光 卓也



「一期一会」を極める年に！
 皆様、よいお年をお迎えでしょうか。
 昨年を象徴する「今年の漢字」は「絆」でしたね。2011年は、私が人事の新卒採用を担当していた1993年・1994年入社の方の皆さん、現在は一線を退いた私の元上司の方々との思いがけない再会があり、多くの励ましをいただきました。そして、浜松市議の活動を通じて、この「絆」を強く実感した1年でした。地域のお祭りに参加した時には「徳さん、おでんの仕込みを手伝ってよ、これからは顔を見せてよ。」と率直にお願いされました。数え切れない「ありがとう」に支えられ、いくらか感謝してもしきれないそんな一年でした。本当にいろいろとありがとうございました。また、昨年は浜松市制100周年ということで「100夢プロジェクト」(100事業)に市民・企業等に募集をかけましたら、予想を超える多くの良い企画が寄せられ、その結果1.5倍の150事業を行うことになりました。このように、浜松市民には「アイデア」と「パワー」が満ち溢れています。浜松市議会にも、「アイデア」と「パワー」をがちりと持ち込みます。このような気持ちで皆さんの職場に出向き、議会報告をしていきます。

さて、今年の私の抱負をここで披露します。それは皆さんとの多くの「絆」により強く意識するようになった「一期一会」を極めることです。この「一期一会」とはご存知の通り、茶道の心得を表したもので、「今後、幾度かの茶会を開く機会があるとしても、今回と同じ茶会は二度とできない。一生に一度のもの」と心得るべきだ」という意味があります。この「一期一会」を今年は更に貫き徹そうと強く決意しています。
 今年は皆さんによりお役に立てるよう精力的に活動してまいります。
 どうか、よろしくお願いいたします。

田口章(静岡県議会議員)議会初登壇!!

12月定例会にて、堂々と一般質問を!

12月8日(木)、静岡県庁にて静岡県議会12月定例会が開催され、スズキ労連組織内議員である田口章静岡県議会議員が初の一般質問を行いました。冒頭、「これまでの民間企業や市議会での経験を活かして県政発展に寄与していきたい」と所信を述べました。

一般質問では、大きく分けて右表の3項目を取り上げ、田口議員らしい民間目線で鋭い指摘と改革案について語りました。特に、「県債管理・退職手当債の発行中止」については県側の当たり障りのない答弁に対して再々質問まで行い、粘り強く説得し意見をぶつけていました。25分という限られた質問時間でしたが、田口議員は問題点をズバリと指摘的確な意見を述べていました。



一般質問内容

1. 財政改革
 - (1) 目的意識を持った業務執行
 - (2) 行政評価システムの改善
 - (3) 県債管理の考え方
 - (4) 退職手当債の発行中止と歳入確保
 - (5) ファシリティマネジメントの推進
2. 市町の行財政改革支援について
 - (1) 行政機関等の共同設置
 - (2) ICTを活用した効率化の推進
3. 多文化共生施策の推進について
 - (1) 公立学校における外国人の子供に対する支援
 - (2) 外国人学校に通う子供のキャリア育成

平成24年度『自動車関係諸税』の抜本改革に向けた活動

自動車重量税 1,500億円規模の負担軽減へ!!

スズキ労連では自動車総連と連携して、「政策・制度課題改善の取り組み」のひとつである『自動車関係諸税の抜本改革』について力をいれて取り組んで参りました。組合員の皆さんにおいては、昨年の9月から10月にかけて署名活動にご協力いただきました。12月10日に『平成24年度税制改正大綱』が閣議決定され、その中で自動車関係諸税については、『自動車重量税の当分の間税率の一部廃止と軽減』・『エコカー減税の延長』が盛り込まれました。暫定税率の完全撤廃までは至りませんが、一定の前進を果たすことができました。

自動車関係諸税に関する これまでの活動

- ①署名活動(2011年9月～10月)
- ②署名結果を踏まえ、労使共同記者会見/政府・政党要請
- ③民主党県連への要請
- ④地方自治体知事に対する要請
- ⑤地協での政策研修会
- ⑥各労連での政策研修会
- ⑦総連本部の要請活動
- ⑧政府・与党内での会議体への対応



※太字がスズキ労連で実施した活動
 青木武志衆議院議員・静岡7区(右)に発言要請

平成24年度税制改正大綱のポイント

- ①自動車重量税：当分の間税率（上乘せ分）の一部廃止・軽減
 - ・2015年度燃費基準達成車⇒廃止
 (現行5,000円/0.5t・年→2,500円/0.5t・年) **本則税率のみになります!**
 - ・2015年度燃費基準未達成車⇒当分の間税率を900円/0.5t・年軽減
 (現行5,000円/0.5t・年→4,100円/0.5t・年)
- ②更なる抜本見直しの推進
 自動車重量税/自動車取得税については、「廃止、抜本的な見直しを強く求める」とした与党の重点要望に沿って、簡素化、負担の軽減、グリーン化の観点から見直しを行う。
- ③自動車取得税・自動車重量税：エコカー減税の延長・拡充<3年間の期間限定減税>
- ④自動車税：グリーン税制の延長<2年間の延長>



スイフトのCVT・FFを購入する場合は*エコカー減税(50%軽減)の対象となるので重量税が大幅減の1,250円/0.5t!!
 ※補正予算案が可決・成立した場合

組合結成!! スズキ化成労働組合



12月25日(日)株式会社スズキ化成本社食堂にてスズキ化成労働組合の結成大会が開催されました。製造部門では2006年に発足した遠州精工労働組合以来、5年ぶりの組合結成となります。

結成大会では、組合執行部体制の承認後、組合執行部から組合活動を行なう上のルールを定めた「綱領・組合規約・各種規程」を提案し、挙手にて採決されました。また、スズキ労連への加盟についても審議の上、満場一致で承認されました。今後は2月3日(金)に開催のスズキ労連第62回中央委員会で加盟承認を得てスズキ労連に正式加盟、113名の仲間が新たに加わる予定となっています。

“河合秀政”執行委員長コメント



組合活動は今始まったばかりで皆さんも不安があると思いますが、みんなで力を合わせてより良い組合をつくっていきましょう



スズキ労連 古川会長より組合旗が贈呈されました



最後はみんなで元気にガンパロー!!

スズキ労連は今後も労連の仲間を増やす活動として、組合づくりのサポートを進めていきます。現在、スズキ販売労働組合の自販鹿兒島支部・自販沖縄支部の組合結成に向けて活動をすすめています。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。